

ふじなわ 喜和

2003.7 No.8
よしかず

発行：ふじなわ喜和後援会
鳥取市湖山町北4丁目812
tel&fax 0857-28-2795

とっとり情熱 がわら版

県政報告



●2003.4.14 日本海新聞

激励に満面笑み

握手攻めの藤縄さん



支援者から握手攻めにあう藤縄さん＝13日午後10時45分、鳥取市湖山町北2丁目の選挙事務所

「強いぞ、藤縄」。支持者から叱咤(しった)激励を受けながら、鳥取市湖山町北二丁目の後援会事務所に姿を見せた藤縄喜和さん。「県政で一生懸命働くことが皆さんへの恩返しになる」と、声を詰まらせながらあい

さつすると、支持者から歓声が上がった。事務所では、竹内功鳥取市長や上杉栄一鳥取市議会副議長らが拍手と笑顔で出迎えた。藤縄さんは家庭教師、県PTA協議会会長を務め、教育版ISOの創設、

期待します

元鳥取県議会議員
川上義博



鳥取市議会副議長
上杉栄一

ふじなわ喜和さんとは鳥取市議会で4年間市政発展のため行動を共にした仲間であり、「ふじなわ選対」で選挙を闘った同志でもあります。9日間の選挙期間中、ふじなわ喜和さんは100カ所以上の街頭演説で、直接県民の皆さんに政策を訴えました。この情熱と行動力は必ずや県政の舞台でしっかりと発揮されるものと確信いたします。「県政と市政のパイプ」として大いに活躍されますことをご期待致します。

ふじなわ喜和さんは青山学院大学の後輩として、市議会議員の時代から注目してまいりました。今般の統一地方選挙で私が勇退の後、青山学院大学唯一の議席を守っていただき、なんとも頼もしい後輩で嬉しい限りであります。初議会となった6月定例会では片山知事に正面から挑み、信念と勇気に裏打ちされた質問戦は、新人とは思えない堂々とした議論であり、高く評価するものであります。この素晴らしいデビューをステップに「恐れず、ひるまず、ためらわず」の精神で、県政に新風を吹き込んでくれることを心から期待致します。

●2003.5.1 日本海新聞

新県議の素顔

11人の抱負

<1>



藤縄 喜和さん(51)

自民党
鳥取市

「教育はすべての原点」と位置付け、改革に「政治家・藤縄」の原 全力で取り組んだ。地域 議論していきたい」と抱 点もそこにあるという。の自立、産業の活性化も、 負を語る。 市議時代に教育改革で 罪、学力低下…。どれも 「八〇年代、レীগンと ます教育改革から」と力 学校と家庭だけの問題で なく、社会全体が責任を 負うべき。その理念と仕 組みを『教育版ISO』 として鳥取から全国に発 信したい」と訴える。

選挙戦を通じ「世代交代への期待を感じた」と振り返る一方、過去最低の投票率で送り出されたことも認識。「県民、市民に身近な県議会にしなければ、議会中継の実現も必要だが、議員が市民の声を伝える姿勢、つまり活発な政策提案こそが、市民との距離を縮める「一番の方法」と話す。

教育改革に 真正面から

鳥取県議会議員に当選した新人十一人の議会活動が三日、スタートした。いずれの議員も分権時代にふさわしい議会像を思い描き、民意を施策に反映しようと決意を新たにしている。実現を目指す施策や議会改革に寄せ

森田実先生と当選のお礼参り



鳥取県議会初当選

五、九六二票の重み

県産品不買メール相次ぐ

初議会で教育長に提言

東芝発言

知事「副作用やむを得ない」

政府の地方分権改革推進

会議の「三位一体改革」の意見書を批判して片山知事が東芝製品への取引見直しを示唆した発言について、県庁に県産物の「不買メール」が相次いでいることが二十日の県議会一般質問で取り上げられた。「はじめを付けるべきでは」とする県議に片山知事は「発言や行動することで副作用が生じるのはやむを得ない」と述べ、県民に理解を求めた。

「副作用やむを得ない」

東芝発言で「県民には不安与えた」

県によくと、県民室に寄せられた電子メールや電話は、十三日の「導引き宣言」後は徐々に減っていき、十九日午後四時時点で計千二百八件。うち七割近くが否定的意見で、「二十世紀ナシやスイカは買わない」「もう鳥取には観光に行かない」「県産物の不買」を宣言したのも四十件近くに

た。これに対し、片山知事は「三位一体改革の現時点での結論に対して、ある程度影響はあったと思う」と述べた上で、「地域を守るためには、ある程度副作用があっても発言しなくてはならないと思う。無難なことは何も言わないことになってしまおう」と持論を展開。

今後は副作用小さく

東芝発言知事が反省の弁

藤縄議員は、西室泰三

鳥取県議会は二十日、本会議を続開して一般質問を継続した。答弁の中で片山善博知事は、全国に波紋を広げた東芝との取引見直し検討発言について「関係者の皆さんに多少の不安、戸惑いを与えてしまったことはぜひご容赦願いたい。これからこういうことがあっても、できるだけ副作用を小さくするよう努めたい」と述べた。

自民党の藤縄喜和（鳥取市）、石村祐輔（東伯郡）、信の伊藤保（東伯郡）の三議員が質問した。東芝会長が議長を務める地方分権改革推進会議への知事の批判が、三位一体改革での地方の立場を全国にアピールした成果を認めた上で、「（知事発言への）否定的メールが七割を占め、県産品の不買を実施する、県への観光を取りやめるといってもあった。深刻に受け止めるべきではないか」と見解を求めた。

片山知事は「せっぱつまるところでの発言にはどうしても副作用がある。鳥取県を守ろうと発



追及質問をするふじなわ議員

言するとき、無難なことしか言わないのでは結局何も言わないことになり、地域の存在感もなくなる」と理解を求めた。その上で「私への批判はいいが、他へ批判が及ぶことがないように、今後はできる限り注意したい」と語った。

藤縄「県民運動で実践、行動、取り組みをシステムにしてい

毎日新聞 地方分権改革推進会議の西室泰三議長が会長を務める東芝との取引見直し検討発言に対して県に批判メールなどが殺到したことについて、片山善博知事は20日の県議会一般質問で、「地域を守るためある程度、副作用があっても発言しなければいけない時がある」と述べ、理解を求めた。

藤縄「県民運動で実践、行動、取り組みをシステムにしてい

○：「重ねてご忠告（民）が片山知事に自省を求めた。申し上げる。危うさを

知事おごることなかれ

日本海新聞

出た。知事は「執行部を責めていたたくのは結構だが、議会も見落

た。知事は「執行部を責めていたたくのは結構だが、議会も見落

部は「執行部を責めていたたくのは結構だが、議会も見落



政財界耳より話

2003.6.22



県議会自民党議員控室

ふじなわダイアリー

- 4月 4日[金] 県議選告示 出陣式
- 4月13日[日] 県議選投票日 初当選 (5,963票)
- 4月20日[日] 米子市議選立候補者応援演説
- 4月30日[水] 県議会初登壇
- 5月22日[木] 教育民生常任委員会
- 5月23日[金] 一期議員（自民党）県内研修（東部地区）
- 5月25日[日] 水防演習（倉吉市天神川）
- 5月31日[土] 鳥取県PTA協議会総会（東郷町）
- 6月 1日[日] 鳥取市熟年ソフトボール連盟20周年記念式典（鳥取市）
- 6月 3日[火]～6月4日[水] 教育民生常任委員会調査
- 6月 9日[月]～6月25日[水] 6月定例県議会
- 6月20日[金] ふじなわ議員一般質問
- 6月24日[火] 国府町議選立候補者応援演説
- 6月28日[土] 自民党県連大会（鳥取市）
青山学院大学校友会役員会（倉吉市）
- 6月29日[日] 鳥取市小P連研修大会（鳥取市）
- 7月 3日[木]～7月4日[金] 一期議員（自民党）県内研修（中部・西部地区）
- 7月 5日[土] 自民党青年部青年局主催 田村耕太郎参議院議員と語る会（鳥取市）
- 7月 6日[日] 前田宏県議会議長就任祝賀会（鳥取市）
- 7月16日[水] 鳥取市議会会派「こう風」との勉強会（鳥取市）
- 7月18日[金] 政治評論家森田実先生評論活動30周年記念講演会（東京 港区）
- 7月19日[土] 自民党県連青年部青年局女性部合同大会（鳥取市）千鳥会総会（鳥取市湖山町）
- 7月23日[水]～7月25日[金] 教育民生常任委員会視察研修（長野県他）
- 7月27日[日] ふじなわ喜和県政報告会（鳥取市湖山町）
- 7月30日[水] ふじなわ喜和勉強会「とっとり教育研究会」（倉吉市）
- 8月 2日[土] 湖山町北4丁目町内会納涼祭（焼きそば担当）
- 8月16日[土] しゃんしゃん祭市子連で参加
- 8月29日[金]～8月30日[土] 日本PTA全国協議会全国大会（米子市他）
- 9月 6日[土] 青山学院大学校友会総会（東郷町）
- 9月17日[水] 9月定例県議会開会（予定）